

こみゆにていー戸隠

戸隠地区住民自治協議会広報 第47号

戸隠地区住民自治協議会事務局
〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554
Tel : 254-2490 Fax : 254-2327
e-mail : togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 山口 和男
【令和4年2月発行】

各事業の活動報告

地域振興委員会（戸隠みらいプロジェクト）



熊野氏の講演



講演を聞く参加者

戸隠村が長野市と合併してから今年で17年目を迎えました。

この間、私たちのふるさと戸隠はどう変わり、そして今後どうなるのでしょうか？

そこで、「これからどうするか」「こうしたい」といった主体的な考えを持ち、将来の戸隠を創りあげていくために私たちは集まり、話し合い、そして戸隠ビジョンづくりと実践を目的に、『戸隠みらいプロジェクト』をスタートしました。

プロジェクトのスタートに併せ、去る12月8日に「人が人を呼ぶ 循環型移住サポート」と題し、新潟県佐渡市で移住に関するサポート業務を展開している熊野礼美さんを講師に招き、講演会を開催しました。

熊野さんは、空き家の情報発信をはじめ、移住希望者からの相談や地域暮らしの情報提供などのサポートを行い、その後、佐渡Uターン・Iターンサポートセンターを立ち上げ移住に関するサポート業務を積極的に展開した結果、昨年度1年間で500名余りのUターン・Iターン者を実現させました。また、移住支援のほか地元不動産業者との連携のほか、シェアハウスの運営、交流会の企画など様々な企画を実践しながら移住者の支援を行っているというお話がありました。

今回、この講演会には、戸隠で地域づくり活動を行っている団体の関係者を含む35名が参加し、熱心に熊野さんのお話を聞いていました。

今後、戸隠地区でも担い手、人材不足を克服するためには若者や子育て世帯を呼び込むことが課題であり、空き家の活用や戸隠暮らしの紹介など移住案内の窓口設置が必要だと感じました。

【今後の予定】

戸隠で地域づくり活動をしている各団体の活動発表の場を設け、課題や希望を共有し、戸隠のビジョンづくりに反映していきます。（令和4年2月下旬に開催予定）

皆さん通いの場をご存じでしょうか？

通いの場とは、戸隠地区にお住まいの65歳以上で自立して生活している皆さんが、福祉施設に頼ることなく、いつまでも元気で暮らせるよう、住民主体で介護予防の為に活動をしたり、生活支援の情報交換をする場です。現在戸隠地区では令和2年より、通いの場を支援して下さるボランティアさんの協力により、3つの通いの場が開催されています。活動に興味のある方は、一度参加してみませんか？それぞれの通いの場についてご紹介致します。

※各会場とも、新型コロナウイルス感染対策を実施した上で開催しておりますが、ご参加の際はマスク着用をお願いいたします。
※中止の場合などは告知放送で連絡いたします。



通いの場にタオルなどの寄付をお願いします

- ☆雑巾にしてもいいタオル
(新品または洗濯済のもの)
- ☆あまった毛糸(指編み等でヒモ作りします)
- ☆はぎれ等(イスのカバーやヒモ作りします)
- ☆牛乳パック(イス等を作ります)



運営ボランティア募集

- ☆耳の遠い方のサポートをしてくれる方
- ☆参加者の送迎をしてくれる方
- ☆その他参加者のサポートをしてくれる方

ボランティアのご希望また寄付については、
住民自治協議会 ☎254-2490 へ

開催場所: 戸隠交流施設 森林囃子

開催日: 毎月第2、4金曜日

(祝日、お盆、年末年始、会場が使用できない日は休み)

開催時刻: 午前10時~11時30分頃まで

持ち物: 会費100円、

(昼食を食べる方は昼食代500円、めがね等)

参加申込: 電話 252-2810 森林囃子

もくもくの会

令和4年度 開催予定

4月8日、22日	7月8日、22日
5月12日、26日	8月8日、22日
6月10日、24日	9月9日

天気の良い日は外ではマレットゴルフ、
室内ではスカットボールを楽しんで、汗をかいたら、ゆっくりお風呂に入ることもできます。



新聞紙1枚で作れる手提げ袋



新聞紙で作った手提げ袋は、戸隠診療所の受付下のボックスにありますので、ご利用ください。

青空の会



月に1回は
ハーモニカの演奏で、
懐かしい歌を
歌います。

ボランティア活動もしています。

牛乳パックのイスや農作業用のヒモ、アカザで杖も作っています。みなでワイワイ楽しく作業をしています。

※完成したイスは各区に2個ずつ寄付しました。



開催場所：戸隠農村環境改善センター2階ホール

開催日：毎月第1～4の木曜日

(祝日、お盆、年末年始、会場が使用できない日は休み)

開催時刻：午前10時～11時30分頃まで

持ち物：会費100円、飲み物、(めがね等)

参加申込：電話090-7413-5479 西

令和4年度開催予定日

4月14日、21日、28日

5月12日、19日、26日

6月2日、9日、16日、23日

7月7日、14日、21日、28日

8月4日、18日、25日

9月1日、8日、15日、22日

すみれ会

開催場所：とがくししょうまの家

開催日：毎週水曜日(祝日、お盆、年末年始は休み)

開催時刻：午前10時～11時30分頃まで

持ち物：会費100円、

(昼食を食べる方は昼食代500～600円、めがね等)

参加申込：電話254-2225 しょうまの家



毎回脳トレプリント(間違い探し等)をして、
介護予防体操、ボランティア活動(封筒作り、クラフトバンドでかご作り等)もしながら、無理せず、楽しく過ごすようにしています。

令和4年度開催予定日

4月6日、13日、20日、28日

5月11日、18日、25日

6月1日、8日、15日、22日、29日

7月6日、13日、20日、27日

8月3日、10日、24日、31日

9月7日、14日、21日、28日



脳トレを兼ねて塗り絵をした用紙を使って

封筒を作ってます。色を考えながら線からはみ出

さないように塗る作業は、脳の活性化が期待できます。



晴れ姿を撮影



恩師に感謝を込めて

年末年始にかけて連日の降雪もこの日は晴天に恵まれ、ミレニアム世代の成人者が大勢参加して厳粛に行われました。

まず荻原市長（支所長代読）から、成人者への祝意と共に『「世界のながの」に生まれた若者たちへ、本当の自分らしさを発揮し光り輝いてほしい』とのエールが届けられました。

続く和田市議会議員からは、『和して動ぜず、不寛容な時代と云われている中、協調性と主体性を磨いて日々研鑽を積んでほしい』との祝辞をいただきました。

山口住自協会長からは、ご自身の二十歳から現在に至るまでの半世紀を振り返られ、『道に迷った時に、どの道を選んだらこの先後悔しないだろうか、いつも思いながら過ごしてきた』とお話いただきました。

最後に堀内館長からは、『会えなくてもわかってくれる友の良さを広げよう。コロナウイルスに負けない思いやりをもって、自分の持ち味を活かしてほしい』との祝辞をいただきました。

各祝辞に応える形で、成人者からは故郷に対する力強い思いを宣言していただき、令和4年の成人式が無事終了しました。

役員の皆様、ご協力ありがとうございました。来年度の住自協の活動につきましても、よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

住民自治協議会 副会長 羽場 謙一

友人から「男の料理教室」があるから、一緒に参加しないかと電話があり、ひとり暮らしが長く自炊はお手の物の自分はそうなのかな？と思ったが、参加することにしました。

参加者は6名で初対面の人は2名だった。作る料理は4品。その内の「巣ごもりシュウマイ」と「簡単・大学芋」の2つが料理レパトリーに加わった。この2品は本格的に作ると手間がかかるので、今までチャレンジしていなかったが、今回の簡単レシピは手間いらずに調理できた。

12名の募集で6名の参加だったが、男衆が目を引き様なジビエ料理を実習メニューに加えたら、参加者が増えるのではないのでしょうか。

ジビエ料理教室が開催されれば是非とも参加します。
参加者 川口 勝信



美味しくできたかな

地域おこし協力隊活動報告

高橋 理絵 隊員

令和2年1月に着任し、あっという間に2年目を終わりました。

私のミッションは、“戸隠の農業と観光を繋ぐ”ということで、日々生活している中で身をもって感じた「戸隠の野菜はおいしい！」という思いから、観光客の方々にもそのおいしさを伝えるべく、新たに立ち上がった任意団体「とんくろりんファームとがくし」や、各農産物直売所、地域内の生産者の方々にご協力いただき活動してきました。

主な活動としては、農業の高齢化が進んでいるという現状から、集荷や梱包を請け負う形での野菜販売を試験的に実施しました。

1年目と同様、2年目もコロナ禍で思うように活動できない時期もありましたが、観光地側と農村部側は持ちつ持たれつの関係だということを改めて実感した年になりました。

その他には、冬期間に開催された「長野デザインウィークin戸隠」の企画・運営に携わせていただきました。

3年目は新たに加工についても取り組んでいきたいと思っています。

今年も地域の方々のお世話になると思いますが、よろしくお願いいたします。



大根掘りに奮闘する